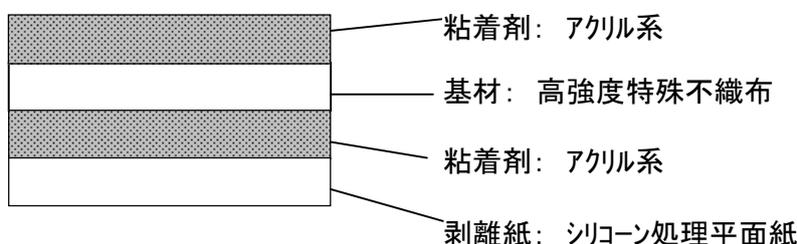


再剥離 低 VOC 不織布両面粘着テープ 1110

1. 概要: 再剥離 低 VOC 不織布両面粘着テープ 1110 は高強度の特殊不織布基材の両面に低 VOC のアクリル系感圧性粘着剤を塗布した両面粘着テープです。
各種被着体に対して良好な接着力を示し、各種素材の固定、仮止めにご使用いただけます。
また、基材に高強度の不織布を使用しているためテープを剥がすときにちぎれにくく、貼り付け後長期間経過後でも被着体からきれいに剥離することが可能です。

2. 構造:



3. 特長:

- (1) 強粘着タイプの粘着剤を使用しておりますので、各種素材に高い粘着力を示します。
- (2) 高強度の特殊不織布基材により、剥がすときにちぎれにくく、被着体からきれいに剥離することが可能です。
- (3) 厚生労働省室内濃度指針値(平成 14 年 2 月)の対象 14 物質の発散が極めて少ない。

4. 用途:

- (1) 電子機器内のフィルム、発泡材などの取り付け用。
- (2) 家電製品のスイッチ、ディスプレイ部のデコレーションパネルの取り付け用。
- (3) 金属、プラスチック銘板の取り付け用。
- (4) 自動車、車輛用の内装下地材の固定。
- (5) 玩具、楽器、レジャー用品の緩衝材の取り付け。

5. 一般特性:

製品番号		1110
色	テープ	無色半透明
	剥離紙	白色 (赤色 “3M Low VOC” ロック入り)
厚さ (mm)	テープ	0.150
	剥離紙	0.110
引張強度 (N/cm)	長さ方向	16.5
	幅方向	13.7
180度方向剥離力(N/cm)		8.2
剪断接着力(N/cm ²)		169.0

試験方法:

厚さ: 直径 5mm のダイヤルシクネスゲージ使用。

引張強度: チャック間距離 100mm、引張速度 300mm/分にて測定。

180度方向剥離力: 対ステンレス板(SUS 304 BA)、厚さ 25 μmPET フィルム裏打ち、2kg ローラー 1 往復圧着、室温 20~40 分放置後、引張速度 300mm/分で測定。

剪断接着力: 対ステンレス板(SUS 304 BA)、5kg ローラー 1 往復圧着、室温 24 時間放置後、引張速度 300mm/分で測定。

6. 被着体別 180度方向剥離力:

被着体	ステンレス (BA)	PC/ABS	ABS	PC	アクリル	PS	PP	PE
1110	8.2	8.0	7.8	9.6	8.6	7.2	5.5	3.6

(単位: N/cm)

試験方法: 厚さ 25 μmPET フィルム裏打ち、2kg ローラー 1 往復圧着、室温 20~40 分放置後、引張速度 300mm/分で測定。

7. 温度別剪断接着力:

温度	1110
5°C	301.9
23°C	169.0
50°C	124.3
75°C	53.1
100°C	26.0

(単位: N/cm²)

試験方法: 対ステンレス(SUS 304)BA 仕上げ面、5 kgローラー 1 往復圧着、室温 24 時間放置後、各温度雰囲気下で充分養生後、引張速度 300mm/分で測定。

8. 剪断保持力:

	70°C
1110	0.8

単位: mm

試験方法: 対ステンレス(SUS 304)BA 仕上げ面、サンプルサイズ 25mm 角、2kg ローラー 1 往復圧着、70°C雰囲気下にて 1 時間放置後、500g の重りをかけ 5000 分後のずれ(mm)を測定。

9. 糊残り試験:

被着体	1110	
	剥離性	糊残り
ステンレス(BA)	ちぎれ無し	無し
PC/ABS	ちぎれ無し	無し
ABS	ちぎれ無し	無し
アクリル	ちぎれ無し	無し
PS	ちぎれ無し	無し

試験方法: 各種被着体にテープを貼り付け厚さ 50 μ m の不織布で裏打ち、2kg ゴムローラーで 1 往復圧着後 65°C × 80%RH にて 100 時間放置後、室温に戻して引張速度 5m/分で 180° 方向に引き剥がす。

10. VOC 分析結果

成分	指針値 (μ g/m ³)	1110
ホルムアルデヒド	100	2.8
トルエン	260	9.0
キシレン	870	2.0
パラジクロロベンゼン	240	<0.28
エチルベンゼン	3800	1.1
スチレン	220	<0.28
テトラデカン	330	<0.28
ノナナール	41 暫定	2.0
アセトアルデヒド	48	<0.8
TVOC	400 暫定目標	162

試験方法: JIS A 1901:2003 小型チャンパー法に準拠、7 日目の測定値。

*厚生労働省室内濃度指針値対象 14 物質で上記リストに記載されていないクロルピリホス、フェノブカルブ (白蟻駆除剤)、フタル酸ジ-n-ブチル、フタル酸ジ-2-エチルヘキシル(可塑剤)、ダイアジン(除草剤)につきましては、1110 に原材料として使用しておりません。

仕様及び外観は予告なく変更されることがありますので、ご了承ください。本書に記載してある事項、技術上の資料並びに勧告はすべて、当社の信頼している実験に基づいていますが、その正確性若しくは完全性について絶対的な保証はしません。使用者は使用に先立って製品が自己の用途に適合するか否かを判断し、それに伴う危険と責任もすべて追うものとします。売主及び製造者の義務は不良であることが証明された製品を取り替えることだけであり、それ以外の責任はご容赦ください。本書に記載されていない事項若しくは勧告は、売主及び製造者の役員が署名した契約書によらない限りは当社は責任を負いません。

●<3M>は、3M社の商標です。

スリーエム ジャパン株式会社

テープ・接着剤製品事業部

〒141-8684

東京都品川区北品川6-7-29

<http://www.mmm.co.jp/tape-adh/>

Please Recycle. Printed in Japan

© 3M 2009. All rights reserved

